



65期生が教えてくれた

三年生を送る会

日常 仲間 自治 の 意味

「贈る言葉」要約

二大行事が成功したのは、普段の音楽と体育の授業をしっかり受けたことはもちろん、**普段から互いに注意しあえる関係がつくれていたことが大きな要因だ。**偶然、同じ教室、班で生活を共にする仲間同士だからこそ、ルールを守り、仲良くすることが集団の力になる。特別な時にだけ、特別なパワーを出して頑張るのではなく、仲間とつながる活動を日々、大切にできた65期生を誇りに思う。



仲間

班ノートは心をつなぐもの。自分一人では解決できなかった事も、**仲間と力を合わせれば解決できる。**班長の力を借り、私たちの気持ちがクラスの子に届いた時、これが仲間とつながることなどとわかった。この三年間で、仲間の大切さ、協力すること、互いの気持ちを認め合うことを学んだ。2月の学校だよりに書いてあったように、「10年後、20年後もつながっている仲間」でありたい。

本当の自治力というのは、「私たちが、班やクラスのつながりを豊かにして、日常での班やクラスの諸問題を自分たちで解決する」力のこと。遅刻をへらすこと目的とせず、「なぜ遅刻してくるのだろう」と、その子の気持ちになり、理解し、どういうアプローチの仕方があるのかと悩む・・・、**その子が頑張ってくれたら、自分もうれしい・・・**、このような経験を繰り返す中で、**本当の自治力が身につくのだ**と思う。

これが、65期生の学年目標である「つながりあい、高め合おう」という意味だとわかった。



「先輩の意志を引き継ぎ 必ず67、68期生に繋ぎます」

「決意の言葉」要約

先輩が「Cさん」「班食べ」「班=家」などにこだわり、日々仲間づくりを実践されている姿を、私たち66期生はいつも目標にしています。先輩たちのおかげで、当たり前に「班食べ」ができ、居心地のいい学校生活が送られています。けれど、学校に来づらい思いを持っている仲間や、一緒に参加できない仲間がいます。最近、班ノートに真剣に取り組む人も増え、仲間のことや自分のことが書けるようになってきました。そこから、「本気の声かけ」につなげていきたいです。先輩方の背中を追いかけ、「もっとよい西中学校」にしていきます。



(2年生の発表を聴いて)

感動した！本気の声かけを中心とした最高の会でした！
「大切なもの」はたくさん思ひ出がある曲でしたので泣きました。

3年生

(新歓にむけて)

新入生がまだ安心してのぞめぬような歓迎会にしたいです。私も最初は、とてもまん張ってどんなふうかとすら思っていました。しかし、今の2年生が歌などをおひくういてくれて、西中はいいとかったです。どのような歓迎会にしたいです！

1年生



(2年生の取り組みは)

全員参加の感想ながら、たとえ歌が上手く出来ない人がいて、その人に声かけをするのが自分達ではなく、先生が、たので、印象が積極的に変わったよとうござります。

2年生

(3年生の発表を聴いて)

3年生の先輩は日常、仲間、自治を大切にしていた
のを感じました。日常の積み重ねも行事への活かし、
全員参加できるように声かけをしており、仲間のことを
思ったり、相談しながら信頼関係を築いており、先輩方の
仲間にに対する意識を改めてすごいと感じた。これからも66期
生がいたり、引き継いでいくべきだと感じた。

2年生

(卒業式にむけて)

卒業式は私たち66期生の成長を示す場だと感じます。そこで
ヨリから卒業証書を受け取る間にじっと座っているので、みんな
で3曲行ったのも、今までの中学校生活で普段やってきたことで、この
3年間が決して無駄ではなかったことを証明する最後の一場面だと思います。
またこの3年間の中で学校に行くことやクラスに対しては、とても大切で、
いまいち想像つかなかったかもしれません。本当に楽しいと思ったこともあれば、それなりに
やつの感想が私の中学校生活でした。

3年生